

知っていますか?

# 受動喫煙の害

たばこを吸っていないのに、たばこの煙を吸わされてしまうのが受動喫煙です。たばこの煙には5,300種類の化学物質、70種類の発がん物質が含まれています。受動喫煙で吸わされるたばこの有害物質は、たばこを吸う人に比べて少量ですが、少量でも健康に大きなダメージを与えることがわかっています。

## 1 毎年、1万5千人の命が奪われています

わが国では、受動喫煙との関係が確実な脳卒中、虚血性心疾患(心筋梗塞、狭心症)、肺がん、乳幼児突然死症候群の4つの病気により、年間15,000人が死亡していると推計されています。

これは1日に約40人が亡くなることに相当し、その健康影響は深刻です。

受動喫煙が原因で余分にかかっている医療費は年間3,233億円と推定されており、経済的にも問題です。

奪われた命  
1万5千人  
(男性5千人、女性1万人)

(平成27年度厚労科学 片野田班)

医療費  
3,233億円

(平成28年度厚労科学 中村班)

## 2 こんなにある! 受動喫煙が関係する病気

受動喫煙を受けると、たばこを吸っている人と同様、広範囲な健康被害が生じます。

受動喫煙との関連が確実な4つの病気に加えて、乳がん、慢性閉塞性肺疾患(COPD)、喘息の発症や重症化、低出生体重、胎児発育遅延、う歯などにかかりやすくなります。

### 受動喫煙との関係が確実な病気

脳卒中  
虚血性心疾患  
肺がん  
乳幼児突然死症候群



### 受動喫煙と関係する可能性がある病気

**【成人】**  
鼻腔・副鼻腔がん、乳がん  
慢性閉塞性肺疾患(COPD)、喘息の発症・重症化  
**【胎児・小児】**  
低出生体重、胎児発育不全、喘息の発症・重症化  
中耳疾患、う歯(虫歯)、呼吸機能低下

(厚生労働省検討会報告書 喫煙と健康. 2016)

## 3 加熱式たばこでも健康影響の可能性があります

加熱式たばこは、紙巻きたばこに比べて有害成分が少ないといわれていますが、発がん物質をはじめ、多くの種類の有害成分が含まれています。加熱式たばこを吸う人が吐き出した煙(正確にはエアロゾル)を吸わされることによって、どの程度健康影響があるかはまだ明らかではありません。しかし、その中には発がん物質などの有害成分が含まれていることがわかっており、それによって健康被害が発生する可能性があります。



### 受動喫煙は周囲の人を傷つけます

2009年の厚生労働省の「受動喫煙防止対策のあり方に関する検討会報告書」によると、受動喫煙は、喫煙者による他者危害であることが指摘されています。受動喫煙の本質は有害物質への曝露です。

受動喫煙についてはマナーで解決するといった考え方もありますが、健康被害の深刻さを考えると、有害物質としての規制が必要です。

受動喫煙を  
防ぐため

# 法律が改正されました

受動喫煙による健康被害を防ぐため、健康増進法が改正され、多数の者が使用する場所での受動喫煙を罰則付きで防止することになりました。

2019年7月から段階的に施行され、2020年4月には全面施行されます。



## 1 改正健康増進法の概要

規制内容は大きく2つに分かれます。学校・保育所や病院、行政機関は敷地内禁煙。事務所やホテル、鉄道などは原則屋内禁煙(喫煙専用室の設置は可)です。ただし、既存の小規模飲食店については、喫煙を認める例外が認められました。

敷地内 禁煙	(屋外に喫煙場所設置可)	学校・病院・行政機関	
原則 屋内禁煙	(喫煙専用室のみ喫煙可)	事務所、工場、ホテル、鉄道	
原則 屋内禁煙	(喫煙専用室のみ喫煙可)	飲食店 ※小規模店には例外規定あり	

20歳未満は、喫煙場所、喫煙専用室への立ち入り禁止

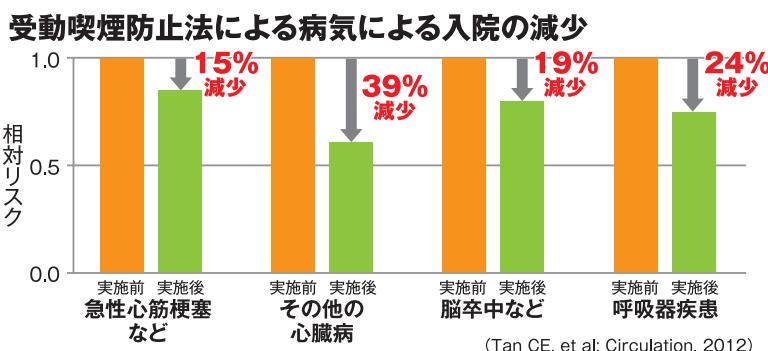
## 2 評価できる点

- 罰則規定が設けられた(違反者には過料)
- 公共性の高い施設では敷地内禁煙が実現
- 喫煙コーナーのような不十分な対策は認められない
- 禁煙場所では加熱式たばこも使用できない
- 新規の飲食店では、例外規定が認められない
- 家庭や屋外において周囲への配慮義務が求められる

今後の課題としては、すべての施設において屋内禁煙を求めているWHOのたばこ枠組条約と比べると、小規模飲食店での例外規定のほか、事務所や飲食店等における喫煙専用室の設置の撤廃があげられます。

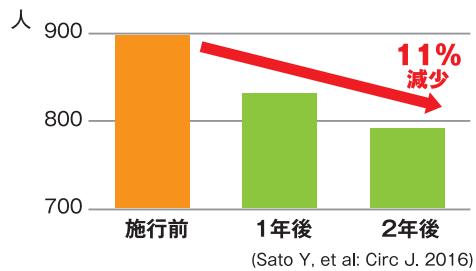
## 3 期待できる効果

法律によって屋内の喫煙が禁止された国々では、心臓病や脳卒中など喫煙が関連する病気で入院する危険が2~4割減少したことが報告されています。



国内でも、兵庫県の受動喫煙防止条例後に、神戸市で急性心筋梗塞などの入院患者が約1割減少しました。

### 兵庫県受動喫煙防止条例による心臓病の入院患者の減少(神戸市)



## 家庭での受動喫煙対策～このような対策では不十分～

受動喫煙を効果的に減らすためには、職場に加えて、家庭での受動喫煙を減らすことが大切です。家庭で受動喫煙を減らすためには、家の中や自動車内でたばこを吸わないことが望まれます。最も効果的な対策は禁煙です。たばこを吸う家族に、みんなの健康のために禁煙してもらうように働きかけましょう。

